

『NANIWAともあれ下水道場』を1/18に開催！（大阪府）

大阪府は、大阪府下水道事業促進協議会公共下水道部会（※）と連携し、府と市町村が共同で、**大阪版下水道場『NANIWAともあれ下水道場』**を開催しました。府の若手職員7名と、20市町村25名の市町村職員が参加し、熱い議論で盛り上がりました。



大阪版下水道場「NANIWAともあれ下水道場」の目的

- 一. 府と市町村、市町村同士の人的ネットワーク構築による連携強化
- 二. 府や市町村が今後の下水道事業を運営していく上で直面する課題について情報交換・共有化、課題解決に向けて議論
- 三. 若手職員の技術力の維持・向上

【NANIWAともあれ下水道場 開催概要】

対象：40歳未満または下水道経験年数が浅い職員（事務・技術不問）
内容：【第1部】①班別議論 ②他班との意見交換 ③発表＆質疑応答
【第2部】意見交換会（ネットワークの深化）



【班別議論のテーマと提案の内容】

テーマ① 収益拡大戦略（もうける下水道）

- ・処理場未利用地を有効活用した都市型農園事業を提案 ⇒ 循環型社会に貢献！
- ・官民連携による最終沈澱池を活用した格安釣堀事業を提案 ⇒ 施設利用料+広告料で収益性UP！

テーマ② 次世代技術戦略（かわる下水道）

- ・ナレッジデータベースの構築を提案 ⇒ データ化により、先人の知恵や経験を未来に残し、業務に活用！
- ・自治体間で、事務の共通化や人的交流の推進を提案 ⇒ 執行体制を相互に補完！

参加者からは、『お互いの顔を見ながら、共に考え、議論する場ができて良かった』と好評でした。来年度以降も下水道場を継続的に開催し、今回新たに構築したネットワークを活かして、府と市町村との連携を一層深めてまいります！

（※）府内の下水道事業の促進や、自治体相互の密接な連絡を図ることを目的として、昭和46年に設立された大阪府下水道事業促進協議会の部会のひとつ（他に処理場部会、水質管理部会）で、公共下水道に関する技術的課題の検討や、技術マニュアル等の整備、研修等に取り組んでいる。